

2022年2月24日

102-0074

東京都千代田区九段南1-3-1  
東京堂千代田ビルディング14F  
一般社団法人徳洲会  
医療法人徳洲会  
理事長 安富祖 久明 殿

581-0011

大阪府八尾市若草町1番17号  
医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院  
総長 福田 貢 殿  
病院長 原田 博雅 殿

[差出人]

×××-××××

大阪府 (省略)

菅野 拓 (かんの たく)

××××年×月××日生まれ

八尾徳洲会総合病院登録番号×××××××

## 抗議ならびに質問状

### 第一 はじめに

私（本状差出人である菅野拓を指す。以下同じ）は、2022年1月15日の午前に八尾徳洲会総合病院の脳神経外科外来を受診し、同日より2022年1月20日まで×××の診断で同病院に入院となったものである。

その間、主治医となった宇田裕史医師をはじめ、看護職員や機能訓練の職員、事務および厨房や病室の掃除を担当してくれた職員など多くの良心ある方々の手で今日を迎えていることを心から感謝している。

と同時に、心ない職員の暴言や行動により腹立たしい思いをさせられたことも事実であり、これらは許し難い出来事であり貴法人の理念にも反すると思料する。よって、こ

れらを以下に略記して抗議するとともに、貴法人の然るべき対応を求めるものである。

## 第二 事実関係

### 1. 中央検査室の看護師の人を人とも思わぬ暴言

2022年1月15日の午前の外来診察の際に、医師（氏名不詳）から「症状から××を疑う。MRI検査を待たなければ診断確定しないが、恐らく入院になると思う」と告げられた。そこから車椅子に乗せられてCTやMRIといった色々な検査を受けたが、その後に連れて行かれた中央検査室の女の看護師（氏名不詳）の態度はトンデモナイものだった。「点滴します」と言って寝かされて点滴が始まったが、私が「この点滴はどれくらい続くのですか」と聞くと、「なに言ってるの。24時間ですよ」とぶっきらぼうに返ってくる。私が驚いて「いつまで此処に居ないといけないんですか」と再度尋ねると、「病室が空くまでですよ。そんなん決まってるやん」と。そこで初めて私は入院となったことを知ったのだが、看護師の患者に対するこのような接遇が貴法人では常態なのか。

### 2. ○○○○○看護師（原文は実名）に対する差別的言動

車椅子の私を介助して前項の検査めぐりをしてくれたのは、中国籍の女性看護師の○○○○○氏だったが、この○○○○○氏に対する前記看護師の暴言も凄まじく、業務を指示する際に「何回同じこと言わせるのや」みたいな罵倒を平気でしていた。外国から日本に来て看護師資格を取得して働いている姿には敬意こそあって然るべきで、罵倒するなどとは信じがたい光景である。おまえら中国に行って働けるのか？と問いたい。この件は後にも取り上げるが、貴法人は外国籍職員に対する差別を容認しているのか。

### 3. HCU職員の人間性を疑うような会話

かくして2022年1月15日の午後に私はHCUの客となるが、そこでの出来事は耳を疑うしかない。入っていきなり大きな男声の「目開けたままイビキかいてるやん。もう終わってるで」に続いて「ハハハハ」の笑い声がすると、それに和するように他の職員も笑い出す。何処かの部屋の患者を指しての暴言で、私は個室に居たので音声しか把握できていないがこれが病院なのか。貴法人は一体どんな人間を雇用し、どんな職員教育を行なっているのか。

### 4. 脳神経外科部長の吉村政樹のゴロツキのような態度

私は同日（2022年1月15日）中に同じHCU内の四人部屋に移るが、翌1月16日の朝の出来事には更に驚いた。朝に「回診です」の看護師の声に続いて三人組の男性が入ってきた。ひとりには主治医の宇田裕史医師であったが、先頭の男が名告りもせず

に偉そうな態度で「両手を挙げて。手を裏返して目を閉じろ」と命じてくる。そして、「言葉が出にくいと言ってたが、どんな状態か」と聞いてくる。私が「マスクをしている所為もあると思いますが、しゃべりにくい感じがします」と答えると、その名告りもしない男は「ケッ！マスクを二枚もすることないやろっ！」と露骨に侮蔑の言葉を吐いた。不織布マスクの効用については、例えば室内空気環境を専門とする九州大学教授の伊藤一秀氏も「単純に不織布マスクの繊毛のような所にウイルスが引っ掛かって、鼻腔や口腔内へのウイルスの侵入を防ぐ効果がある」と指摘しており（放送大学面接授業2021年5月）、マスクを二枚重ねることの効用は否定できない。その名告りもしない男は、無知を自覚しないで威張り散らす医者 of 典型であろう。

この名告りもしない男は、翌日の1月17日の朝にも三人組で私の病室を訪れた（このときは4階の個室に私は移されていた）。その際は宇田裕史医師が幾つか私に病状を尋ねたが、なんとその名告りもしない男は、ポケットに手を突っ込んだ横柄な態度で病室内のロッカーに寄りかかって宇田医師と私の会話を聞いていた。ふざけるなど言いたい。

私はその名告りもしない男が脳神経外科部長の吉村政樹であると知ったのは、退院してから八尾徳洲会総合病院の公式サイトで同人の写真を見てからである。そう言えば、看護師がこんな愚痴をこぼしているのが耳に入ってきた。「患者さんはドクターが来たときに何も言わなくて、ナースにここが痛いとかあそこが変だみたいなことを言う。ドクターに言ってくれないとどうしようもない」と。こんな偉そうにする医者がいれば、患者は何も言うまい。

ついでに、先述の〇〇〇〇〇看護師の件である。4階病棟入院中に看護師どうしの立ち話で「あの人また言葉遣いがぞんざいになってきてる。『あっ、そう』とか平気で患者さんに言う」「中国人だから仕方ないでは済まへんわな」と、〇〇〇〇〇看護師のことと思われるものがあつた。これは必ずしも外国人差別とは言えない内容だが、看護師にこうした接遇のあり方を要求するのなら、医師に対しても当然求めるべきである。

貴法人は医師に対して、どのような教育をしているのか。患者に対しては所属と名前を名告る、丁寧語で話す、偉そうな口をきかないという指導をしていないのか。

## 5. その他

他にも、患者がベッドに臥床したままの病室移動に際して看護師がゴンゴンと平気であちこちにベッドをぶつけて「あはは、ぶつかった」と笑っていることや、退院当日の極めて不親切でいい加減な対応などもここに書きたい気がするが敢えて省く。

とにかく出鱈目な職員の行為を良心的な職員の献身で辛うじてカバーすることで、何とか業務が回っているというのが貴法人の実態ではないのか。

## 第三 調査および回答を求める

以上の私が指摘した事実関係につき、貴法人においてきちんした調査を行うことを求める。その上で、①確認できた事実、②当事者へ指導処分の内容を回答されたい。

特に前項4の脳神経外科部長の吉村政樹に関しては、同人に「患者に対してきちんと名告っているか」「どんな言葉づかいをしているか」を確認することで同人の素行が明らかになると思われる。

多分、この手の抗議については一切無視して、私を所謂「クレーマー・リスト」に載せて終わりというのが定番だろう。広報誌の『徳洲新聞』で幾らもってもらしく「医の心」とやらを宣伝しても、こんなことをしては『後漢書』楊震伝の「天知、神知、我知、子知」になるのは必定と知るべし。

退院後一ヶ月を経ての抗議ならびに質問状となったが、ようやく少しだけ生活が落ち着いてきたことからの起案になったことを申し添える。

差出人 署名 \_\_\_\_\_ (省 略)

以上

#### [追記]

この文書は、2022年2月24日に特定記録郵便で千代田区と八尾市の名宛て人にそれぞれ差し出した。そして、吉村政樹本人にも写しを普通郵便で同日に投函した。

[参考：脳神経外科部長・吉村政樹の八尾徳洲会総合病院のHPにある顔写真]

作り笑いというやつである→

